

1. 所属する東・西いずれかの部会の編集委員会へ投稿。審査は当該部会の編集委員会が行なう。編集委員は東・西部会それぞれ5名ずつ。
2. 東・西の編集幹事それぞれが著者の投稿資格、論文の分量を確認し、著者に論文受領通知のメールを送送。また、投稿された論文の題目一覧(著者名を隠したもの)と各論文の要旨を東・西ごとの編集委員全員にメール。編集委員会は査読者二名以上を選定し、査読を依頼する。
3. 東・西の編集幹事が著者名を隠して論文本体をコピー。東・西ごとの編集委員全員と査読者に送付。
4. 投稿締切後、概ね1ヶ月以内に東・西別に編集委員会議。会議では、各論文について編集委員全員が意見を述べ、査読者の所見を踏まえて、採否が決定される。評価はA(採択)、B(条件付き採択)、C(修正の上、再投稿)、D(不採択)の4段階。査読結果は、編集委員および査読者の所見を添えて著者に通知される。その際、A評価の場合を除き、「査読所見に質問のある場合は、編集委員会にお問い合わせ下さい」という文言が添えられる。以上の内容を、幹事から著者にメールで送付。
5. A評価論文は投稿締切のおよそ三ヶ月後に、東部会編集幹事が東・西分をまとめて入稿。B評価論文は修正稿を編集委員があらためて査読し、改善されたことを確認して、A評価論文と一緒に入稿される。C評価論文は修正稿の提出を求め、それについて改めて査読を行なう。
6. 著者による初校(通常、入稿から1ヶ月以内)。ここで最終的な分量を確認し、規定の頁数を超過している場合、東部会編集幹事から分量を減らすよう、著者に要請することがある。
7. 東部会編集委員会による再校、三校をへて、投稿締切日のおよそ六ヶ月後に刊行(著者の氏名は編集委員に対しても、刊行されて初めて明らかになる)。